





シンガポールにおける個人向けヘルスケア助成スキーム（1/3）

- シンガポールでは、国民と永住者のために、医療と介護に関する助成スキームが数多く用意されている。ここでは政府及び民間が提供する代表的な助成スキームを紹介する。

	<ul style="list-style-type: none"> ● CareShieldLifeは、国民と永住者が重度の障害を負った場合の長期介護費用を賄う保険である。 ● 1980年以降に生まれた全てのシンガポール人と永住者に加入が義務付けられている。 ● 重度の障害（日常生活動作の6つ中3つ以上を実行できない）があると医師に評価された場合、月額600ドル（約5万円）の給付を受けることが可能。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ElderShieldは、特に老後の介護を必要とするシンガポール人に基本的な経済的保護を提供することを目的とした重度の障害者保険制度として2002年に導入された。 ● 重度の障害（日常生活動作の6つ中3つ以上を実行できない）があるElderShield保険契約者は、最大72か月間、月額300ドル又は400ドルの現金支払いを受け取ることが可能。 ● 2020年に、CareShieldLifeがElderShieldに代わる制度となり、既存のElderShield保険契約者の場合、ElderShieldプランを継続する、又はCareShieldLifeプランに変更するかを選択可能。




出所：コンソーシアム作成

シンガポールにおける個人向けヘルスケア助成スキーム（2/3）

 <p>Interim Disability Assistance Scheme</p>	<ul style="list-style-type: none">● ElderShieldが導入された時代に加入資格がなかった高齢者（シンガポール市民）の場合、暫定障害支援スキーム（IDAPE）にて、最大72か月間、月額150ドルから250ドルの現金支払い（申立人の財政状態に応じて）の支援を受けることが可能。● 支払いは、IDAPE申立人が行う介護のために、医療費・看護費、及び外国人家事労働者の雇用の支払いを相殺するために使用可能。
 <p>ElderFund</p>	<ul style="list-style-type: none">● 2020年1月30日に開始されたこの裁量支援スキームは、CareShieldLife・ElderShield又はIDAPEの資格がない、若しくはその恩恵を受けていないシンガポール市民が利用可能。このスキームは、重度の障害を持つ市民において、資格がある限り、月額250ドル又は150ドルの現金支払いを提供することによって支援することを目的としている。

出所：コンソーシアム作成

シンガポールにおける個人向けヘルスケア助成スキーム（3/3）

	<ul style="list-style-type: none"> ● MediShieldLifeは、年齢や健康状態に関係なく、全てのシンガポール市民と永住者を多額の病院の請求から保護するための基本的な健康保険プランである。中央積立基金（CPF）理事会によって管理されており、高額な病院の請求書や、透析や癌の化学療法等の費用がかかる外来治療の支払い支援を行う。これは、患者が多額の病院の請求に対して現金を支払うことが少なくなるように構成されている。
	<ul style="list-style-type: none"> ● MediSaveは、個人又は扶養家族の入院、日帰り手術、特定の外来費用、及び老後の医療ニーズの支払いに対し、個人の収入の一部を貯蓄することにより国が運営する医療貯蓄制度である。 ● 2020年10月に導入されたMediSave Careは、シンガポール市民及び重度の障害を持つ30歳以上の永住者が、自分自身又は配偶者のMediSaveを利用して、長期介護のニーズに資金を提供できる介護保険制度である。 ● 個人のMediSaveアカウントに最低5,000ドルあれば、長期的なケアのニーズに応じて、月額200ドルまでの現金をMediSaveアカウントから引き出すことが可能。
	<ul style="list-style-type: none"> ● COMMUNITY HEALTH ASSIST ACHIMEは、パイオニアジェネレーション及びメルデカジェネレーションのカード所有者を含む、全てのシンガポール市民が利用でき、このスキームに参加している一般開業医（GP）及び歯科医院で医療・歯科医療の助成金を受け取ることが可能。 ● 120万人以上のシンガポール人が外来通院のCHASスキームの対象となっている。